## 学校行事参加型+体験活動参加型+講演会型+在宅取組型(小学校)

学校名等	大野町立中小学校
実施日時	11月17日(金)
会場	中小学校 1 年教室、中小学校体育館、第 5 公民館
参加人数	2 2名
学習課題(分野)	親子作品づくり教室
運営者の願い	家庭教育学級において親子作品つくり教室において作品作り(素焼き風テラコッタランプ) に取り組むことにより、親子のふれあいを深める。

## 学習の内容

## <案内文から>

今回の家庭教育学級では親子作品つくり教室を開催させていただきます。今年は焼かない「素焼きテラコッタルームランプ」つくりを予定しております。制作や飾りに必要な持ち物を記載させていただきますが、なければ役員の方でも用意しているので大丈夫です。親子でどのような作品ができるがどうか楽しみです。

<親子作品つくり教室の進め方>

- <写真1>
- テラコッタ粘土を用い、作りたいルームランプの型をつくる。
- 作った型をどのように飾るかを親子で考える。
- 貝殻、タイル、小石などを使い、テラコッタ粘土に デコレートする。

〈写真2〉

<作品づくりの感想>



親子作品つくり教室では、焼かずに形成するだけで素焼き風に仕上がる粘土を使い、ルームランプを作りました。親子で力を合わせて粘土をこねて伸ばしたり、ペットボトルの土台に合わせて形成したり、いろいろとアイディアを出し合いながら、明かりとりの穴を型抜きで開けたり、貝殻やビーズでデコレーションを楽しみました。

家庭でも粘土が固まってからそれぞれに点灯式

を行い、どきどきしながら秋の夜長を過ごせましたとの声をいただきました。

親子の共同作品を飾って明かりを灯すことで絆を確認し、世界に一つだけのランプを眺めながら、眠りに誘われるよい思いでができたこととうれしく思います。

これからもわが子やお友だちのよさを見つけ、みんなで成長できるように子育て を楽しんでいきたいと思います。

<家庭教育学級についてのアンケート結果>

- ●開催時期 よかった 9 ふつう 1
- ●開催会場は よかった 9 ふつう 1
- ●開催内容は よかった 10
- ●親同士の交流は よかった3 ふつう7
- ●役員の活動内容は よかった 8 ふつう1

## <家庭教育学級についての感想>

- 親子で共同作業ができてたのしかった。
- ・親が夢中になって子どもに怒られた。もう少し自由に作らせてあげるとよかった。
- 粘土をこねたり、形を作るのが難しかったが楽しかった。
- •型抜きや飾りつけなど子どもがすきなことで楽しめた。
- 家に帰って、ランプを点灯するまで楽しめた。



夏休みには読み聞かせ と併行して「夏休みほめ ほめタイム」を行いす。 どの家庭でもマージや夕食の支度なが主流でしたが主流でしたが い事の練習を頑張った り、兄弟の面倒をみたり と充実した夏休みが過ご せました。

ほめられたことのラン キング1位はお父さんや お母さんのマッサージ、 2位は夕食の手伝い、3 位は洗濯物をとりこんだ り、たたむことでした。



<保護者による家庭教育 学級の講師>

★ヨガ教室や食育教室育教室育教室や食育教室を依頼したが、親子作りを放ったが、親子作りをできる。ででもいるででもいる。ででもいるででもいるででもにしている。ででもはどった。ででもはどった。ででもはどった。ででもはいるようにしました。



<少人数ならではの様々 な企画>

本年度は11名と人数が 少なかったため、みんな でアイディアを出し合 い、いろいろな企画を行 うことができました。

また、家庭教育学級で学んだことや家庭学級での活動をもとに家で親子のコミュニケーションを図ることができました。